

2027年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年10月21日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社アジュバンホールディングス

コード番号 4929 URL https://www.adjuvant-hd.co.jp/

代表者 （役職名）代表取締役会長兼社長 （氏名）中村 豊

問合せ先責任者 （役職名）取締役経営管理本部長 （氏名）中村 卓哉 TEL 078-351-3135

半期報告書提出予定日 2026年10月30日 配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2026年3月21日～2026年9月20日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期中間期	1,850	△0.3	0	—	22	—	32	102.2
2026年3月期中間期	1,855	△10.8	△21	—	△15	—	15	△12.4

（注）包括利益 2027年3月期中間期 30百万円（185.3%）2026年3月期中間期 10百万円（△57.8%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期中間期	4.04	—
2026年3月期中間期	1.99	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年3月期中間期	5,122	4,152	81.1	519.06
2026年3月期	5,148	4,218	81.9	527.29

（参考）自己資本 2027年3月期中間期 4,152百万円 2026年3月期 4,218百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00
2027年3月期	—	0.00			
2027年3月期（予想）			—	12.00	12.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年3月21日～2027年3月20日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,052	6.3	50	△70.2	52	△74.0	24	△82.7	3.09

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更： 無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2027年3月期中間期	8,043,600株	2026年3月期	8,043,600株
-------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2027年3月期中間期	43,205株	2026年3月期	43,205株
-------------	---------	----------	---------

③ 期中平均株式数（中間期）

2027年3月期中間期	8,000,395株	2026年3月期中間期	8,012,869株
-------------	------------	-------------	------------

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3頁「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料については、2026年10月28日（水）に当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

文中の将来に関する事項は、当中間連結会計期間の末日現在において判断したものです。

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間(2026年3月21日～2026年9月20日)におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に、個人消費に持ち直しの動きがみられるなど、景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方で、継続的な物価上昇による生活防衛意識の高まりから消費者心理は慎重な状況が続いており、中東情勢の緊迫化等を背景とした原材料・物流コストの上昇や為替変動等もあり、先行きは依然として不透明な状況です。

国内の美容市場は、人口減少や少子高齢化の影響により縮小傾向が見込まれるものの、個性を重視する消費意識の高まりを背景に、付加価値の高いサービスへの需要は拡大しています。物価高の環境下においても美容への支出意欲は底堅く、美容は心豊かな生活を支えるサービスとして、その重要性が高まっています。このような環境の中、当社グループにとって事業成長の機会があると認識しています。

当社グループは「再成長に向けた事業基盤の強化と変革」を掲げた、「新中期経営計画 2025-2027 NEXT」を進めています。2年目となる2026年度は、ECプラットフォーム「ADJUVANT LINK」、AI肌診断ツール「Mite Photo」、情報プラットフォーム「Mitepli」等のデジタル施策によりサロン様との顧客接点を強化しながら、新商品投入とロングセラー品のリブランディングを通じてブランド価値の向上を図ります。

当中間連結会計期間の連結売上高は、1,850百万円(前年同期比0.3%減)となりました。第1四半期は、6年ぶりとなるサロン様ご招待イベントを開催し、関係先のモチベーション向上を図るとともに、営業本部全体で重点商品の拡販に注力しました。その結果、代理店様からサロン様、サロン様から消費者への提案活動が活発化し、売上高を大きく押し上げました。第2四半期は、新商品を購入された顧客に対するクロスセル(関連商品の販売)に苦戦したものの、第1四半期の拡販効果により、中間期全体の減収幅は前年同期比0.3%にとどまりました。なお、取引サロンの実稼働軒数※は、11,366軒(前年同期比110軒増)となりました。

利益面におきましては、売上減等による粗利益減少を広告宣伝費等の販売費及び一般管理費の削減により補った結果、営業利益0百万円(前年同期は営業損失21百万円)となりました。また、受取配当金や受取利息などにより、経常利益22百万円(前年同期は経常損失15百万円)となりました。税金費用を△10百万円計上した結果、親会社株主に帰属する中間純利益は32百万円(前年同期比102.2%増)となりました。

※当中間連結会計期間内に取引があったサロンの軒数

区分別売上高は、売上割戻金を含めて次のとおりです。

区分	前中間連結会計期間		当中間連結会計期間		増減額	増減率
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	(%)
スキンケア	661	35.7	681	36.8	19	2.9
ヘアケア	1,282	69.1	1,285	69.5	3	0.2
その他	48	2.6	17	0.9	△31	△64.6
売上割戻金	△136	△7.4	△133	△7.2	3	—
合計	1,855	100.0	1,850	100.0	△5	△0.3

(注) 1. 前中間連結会計期間については、ADJUVANT GLOBAL COMPANY LIMITED(連結子会社)、株式会社2C(連結子会社)の売上高が、「その他」に含まれています。当中間連結会計期間については、ADJUVANT GLOBAL COMPANY LIMITED(連結子会社)の売上高が、「その他」に含まれています。

2. 売上割戻金は、商品ごとではなく売上高の合計を基準として割戻率を設定しているため、区分ごとに配賦せず合計額で表示しています。

国内海外別売上高は、次のとおりです。

区分	前中間連結会計期間		当中間連結会計期間		増減額	増減率
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	(%)
国内売上高	1,767	95.2	1,784	96.4	16	1.0
海外売上高	88	4.8	66	3.6	△22	△25.3
合計	1,855	100.0	1,850	100.0	△5	△0.3

(スキんケア)

スキんケア商品の売上高は、2026年5月に上市したメイクブランド「rafuna(ラフナ)」のカバーファンデーションを活用し、サロンでのタッチアップ(メイクのお直し)を強化したことなどが寄与し、rafunaブランドを中心に前年同期を上回り、681百万円(前年同期比2.9%増)となりました。上期から取り組んできた施策を、下期も引き続き強化してまいります。

(ヘアケア)

ヘアケア商品の売上高は、2026年5月に上市したカラーケア商品「Re:」プラチナム プラス クリームシャンプー」が寄与したことに加え、「ループシアードカラー」を中心に緩やかな回復基調で推移し、1,285百万円(前年同期比0.2%増)となりました。上期から取り組んできた施策を、下期も引き続き強化してまいります。

(2) 当中間期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して26百万円減少の5,122百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末と比較して140百万円減少の3,226百万円となりました。主な変動要因は、現金及び預金59百万円の減少、棚卸資産42百万円の減少、その他に含まれる未収法人税等40百万円の減少などによるものです。

固定資産合計は、前連結会計年度末と比較して113百万円増加の1,895百万円となりました。有形固定資産は、前連結会計年度末と比較して12百万円減少の1,278百万円となりました。主な変動要因は、減価償却累計額32百万円の増加、その他に含まれるリース資産10百万円の増加および工具、器具及び備品8百万円の増加などによるものです。投資その他の資産は、前連結会計年度末と比較して125百万円増加の559百万円となりました。主な変動要因は、投資有価証券98百万円の増加、その他に含まれる繰延税金資産28百万円の増加などによるものです。

負債合計は、前連結会計年度末と比較して39百万円増加の969百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末と比較して33百万円増加の530百万円となりました。主な変動要因は、買掛金43百万円の増加、賞与引当金17百万円の増加、その他に含まれる返金負債9百万円の増加、未払費用4百万円の増加、未払金51百万円の減少などによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末と比較して6百万円増加の438百万円となりました。主な変動要因は、その他に含まれるリース債務5百万円の増加などによるものです。

純資産は、前連結会計年度末と比較して65百万円減少の4,152百万円となりました。主な変動要因は、剰余金の配当による96百万円の減少、親会社株主に帰属する中間純利益による32百万円の増加などによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べて459百万円減少し、当中間連結会計期間末には1,674百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、獲得した資金は170百万円(前年同期は188百万円の支出)となりました。これは主に、減価償却費40百万円、仕入債務の増加43百万円、棚卸資産の減少42百万円、税金等調整前中間純利益22百万円、利息及び配当金の受取額20百万円、法人税等の還付額23百万円、売上債権の増加21百万円などによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は528百万円(前年同期は97百万円の支出)となりました。これは主に、定期預金の預入による支出400百万円、投資有価証券の取得による支出100百万円、無形固定資産の取得による支出20百万円、有形固定資産の取得による支出12百万円などによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は100百万円(前年同期は100百万円の支出)となりました。これは主に、配当金の支払額95百万円などによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、前回発表(2026年4月17日)の連結業績予想からの変更はありません。今後の業績推移などによって通期業績予想の見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位: 千円)

	前連結会計年度 (2026年3月20日)	当中間連結会計期間 (2026年9月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,134,085	2,074,143
売掛金	303,058	324,371
商品及び製品	616,836	555,798
仕掛品	67,671	55,503
原材料及び貯蔵品	165,473	195,685
その他	81,473	23,170
貸倒引当金	△2,419	△2,557
流動資産合計	3,366,179	3,226,115
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,210,282	1,213,016
土地	579,283	579,283
その他	456,312	473,701
減価償却累計額	△954,452	△987,250
有形固定資産合計	1,291,425	1,278,751
無形固定資産	56,864	57,669
投資その他の資産		
投資有価証券	286,024	384,386
長期貸付金	909	599
その他	156,959	184,628
貸倒引当金	△10,014	△10,045
投資その他の資産合計	433,879	559,569
固定資産合計	1,782,169	1,895,990
資産合計	5,148,348	5,122,105
負債の部		
流動負債		
買掛金	115,373	158,893
未払法人税等	20,988	20,506
賞与引当金	75,981	93,250
その他	285,576	258,327
流動負債合計	497,919	530,978
固定負債		
退職給付に係る負債	50,174	50,850
資産除去債務	28,848	28,900
長期未払金	339,000	339,000
その他	13,842	19,702
固定負債合計	431,865	438,452
負債合計	929,785	969,431

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月20日)	当中間連結会計期間 (2026年9月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	776,580	776,580
資本剰余金	752,200	752,200
利益剰余金	2,712,097	2,648,376
自己株式	△21,332	△21,332
株主資本合計	4,219,545	4,155,825
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△4,633	△3,485
為替換算調整勘定	3,651	334
その他の包括利益累計額合計	△982	△3,150
純資産合計	4,218,563	4,152,674
負債純資産合計	5,148,348	5,122,105

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年3月21日 至 2025年9月20日)	当中間連結会計期間 (自 2026年3月21日 至 2026年9月20日)
売上高	1,855,987	1,850,439
売上原価	623,610	624,210
売上総利益	1,232,377	1,226,228
販売費及び一般管理費	1,254,273	1,225,710
営業利益又は営業損失(△)	△21,896	517
営業外収益		
受取利息	2,802	3,873
受取配当金	2,584	16,569
受取家賃	600	600
雑収入	754	1,533
営業外収益合計	6,741	22,576
営業外費用		
為替差損	779	1,056
営業外費用合計	779	1,056
経常利益又は経常損失(△)	△15,934	22,038
特別利益		
投資有価証券売却益	21,194	—
特別利益合計	21,194	—
特別損失		
固定資産除却損	7	—
特別損失合計	7	—
税金等調整前中間純利益	5,252	22,038
法人税、住民税及び事業税	9,992	18,642
法人税等調整額	△20,703	△28,888
法人税等合計	△10,711	△10,246
中間純利益	15,964	32,284
親会社株主に帰属する中間純利益	15,964	32,284

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年3月21日 至 2025年9月20日)	当中間連結会計期間 (自 2026年3月21日 至 2026年9月20日)
中間純利益	15,964	32,284
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,248	1,148
為替換算調整勘定	△4,159	△3,316
その他の包括利益合計	△5,407	△2,168
中間包括利益	10,556	30,116
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	10,556	30,116
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年3月21日 至 2025年9月20日)	当中間連結会計期間 (自 2026年3月21日 至 2026年9月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	5,252	22,038
減価償却費	44,482	40,419
特許権償却	124	195
株式報酬費用	3,233	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	182	168
賞与引当金の増減額(△は減少)	△10,879	17,268
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	1,951	676
受取利息及び受取配当金	△5,386	△20,443
為替差損益(△は益)	779	1,056
固定資産除却損	7	—
投資有価証券売却損益(△は益)	△21,194	—
売上債権の増減額(△は増加)	△22,463	△21,313
棚卸資産の増減額(△は増加)	△39,646	42,994
仕入債務の増減額(△は減少)	△21,457	43,520
長期未払金の増減額(△は減少)	△8,970	—
その他	△47,245	223
小計	△121,228	126,804
利息及び配当金の受取額	5,386	20,443
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△72,453	23,430
営業活動によるキャッシュ・フロー	△188,295	170,678
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△400,000
有形固定資産の取得による支出	△9,454	△12,444
無形固定資産の取得による支出	△4,240	△20,682
投資有価証券の取得による支出	△301,400	△100,000
投資有価証券の売却による収入	223,923	3,313
その他	△6,375	1,423
投資活動によるキャッシュ・フロー	△97,547	△528,390
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△4,390	△4,786
配当金の支払額	△96,091	△95,936
財務活動によるキャッシュ・フロー	△100,482	△100,722
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,356	△1,507
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△390,681	△459,942
現金及び現金同等物の期首残高	2,224,895	2,134,085
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,834,214	1,674,143

（4）中間連結財務諸表に関する注記事項

（セグメント情報等の注記）

当社グループは、化粧品の商品企画、研究開発、販売及びこれに附帯するサービス業務を営む単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しています。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。